

卷末付録

1. 出雲王国主王（大名持）系図

^{すが}1 菅之八耳 [八箇耳]^{a-2} ^{しのみ}八島士之身 [八嶋篠]^{b-}

^{しゅ}3 兄八島士之身 [八嶋手]^{a-4} ^{ふは}布葉之文字巧為^{b-5} ^{やれ}深淵之水遣
花^{a-}

^{おみつぬ}6 臣津野 (国引主)^{b-7} ^{ふゆぎぬ}天之冬衣^{a-8} 八千矛 (大国主)^{b-}

^{なるみ}9 富鳥鳴海 (事代主長男)^{a-10} 国押富^{a-11} ^{はやみか たけさわ やじ}速瓮之建沢谷地乃
身^{b-}

^{みか}12 瓮主彦^{b-13} ^{たひり}田干岸円味^{a-14} ^{みろなみ}身櫓波^{b-15} ^{ぬのおし とりなるみ}布忍富取成身^{a-}

^{ひばり しなとみ}16 簸張大科戸箕^{a-17} ^{とおつ たらし}遠津山崎帯^{b-} (18) 富大田彦 (野見・弩
^{みの}美宿祢)^a

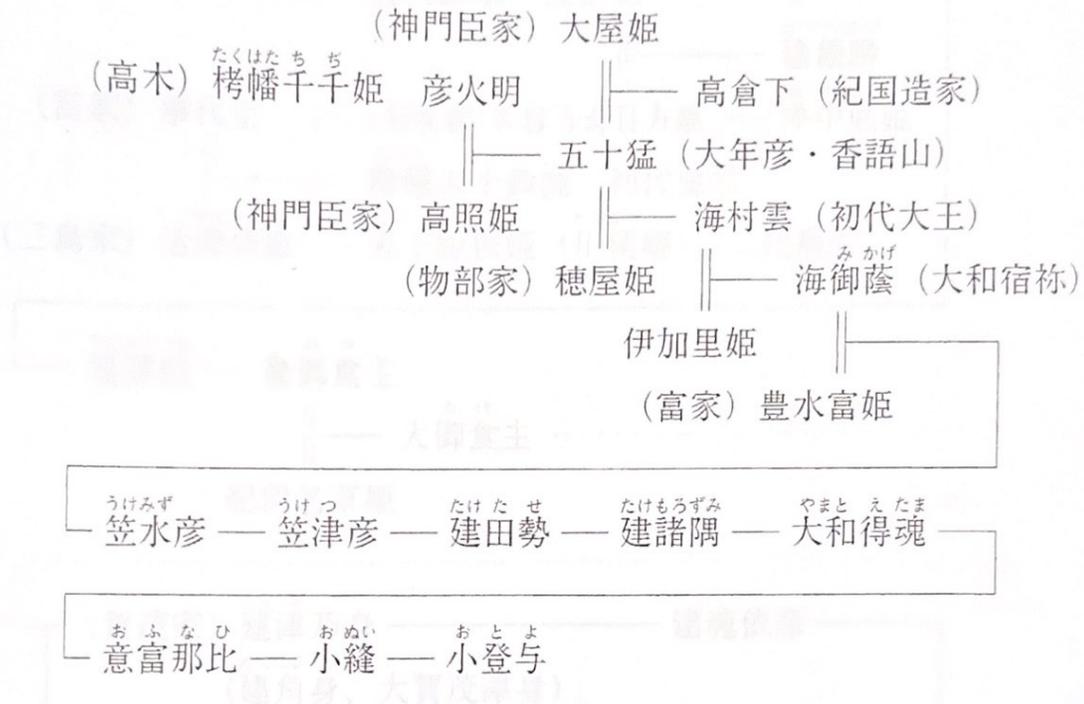
数字は就任順。aは富家出身で、bは神門臣家出身。

出雲王国は17代目のときに滅亡したので、18代目は主王になる予定だった人物を記載。

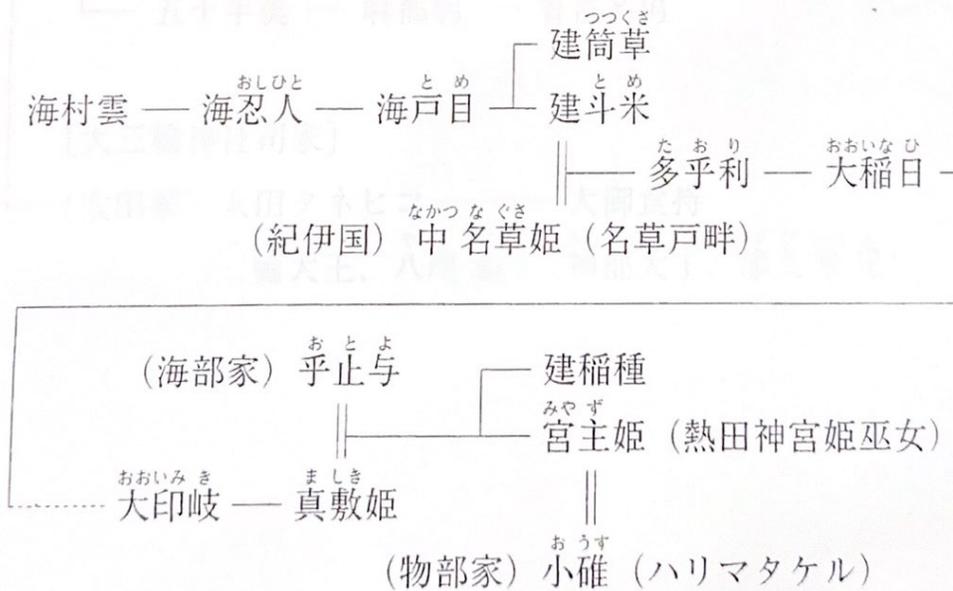
この系図は、古事記と風土記、王家伝承などによる。

[] 内の名前は、日本書紀の表記名。

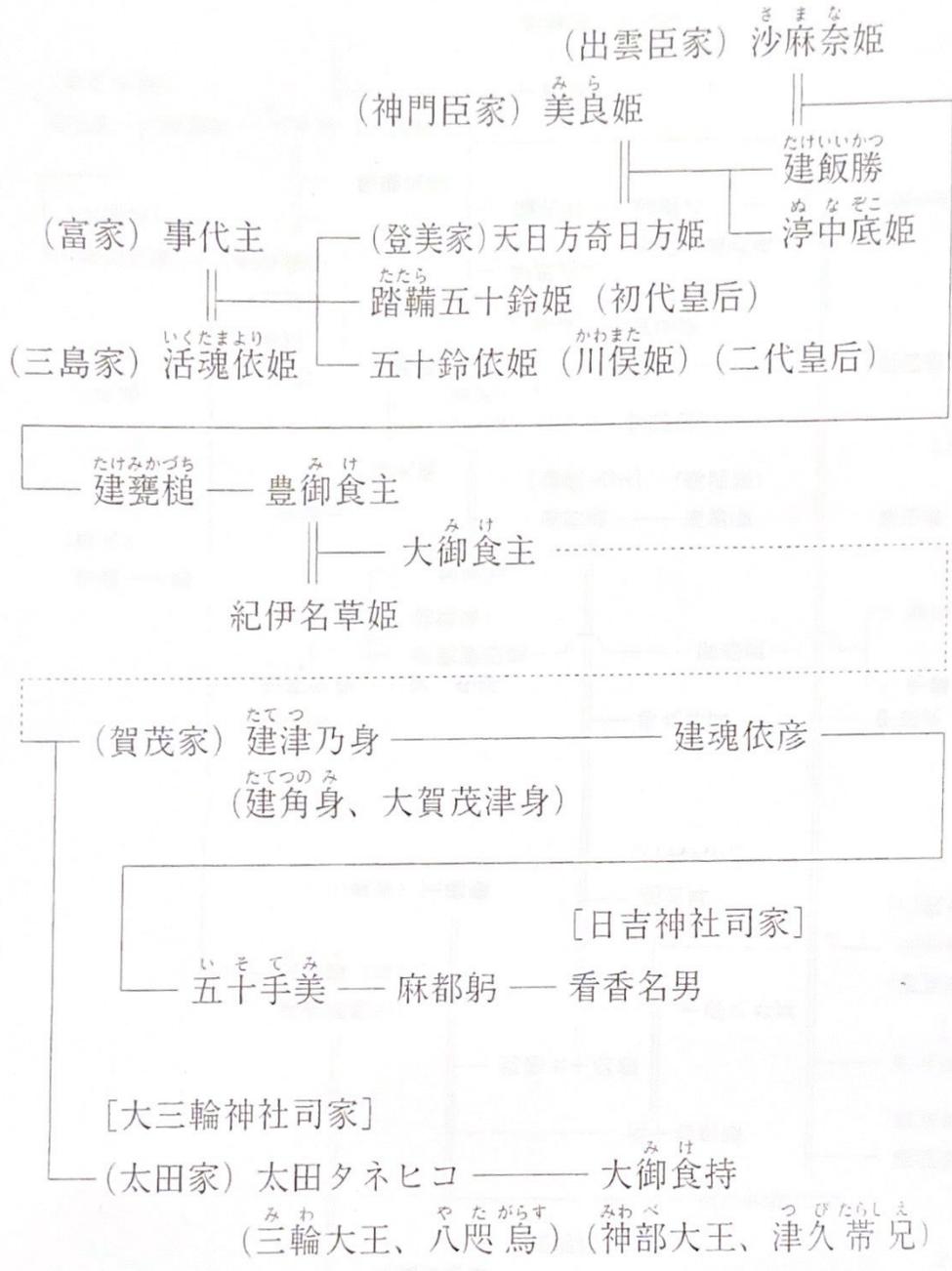
2. ^{あまへ}海部家系図



3. ^{おわり}尾張家系図 (尾張家は海部家と同族)



4. 磯城登美家・賀茂家・太田家系図



1. オミツヌノミコト像
(荒木文夫作)

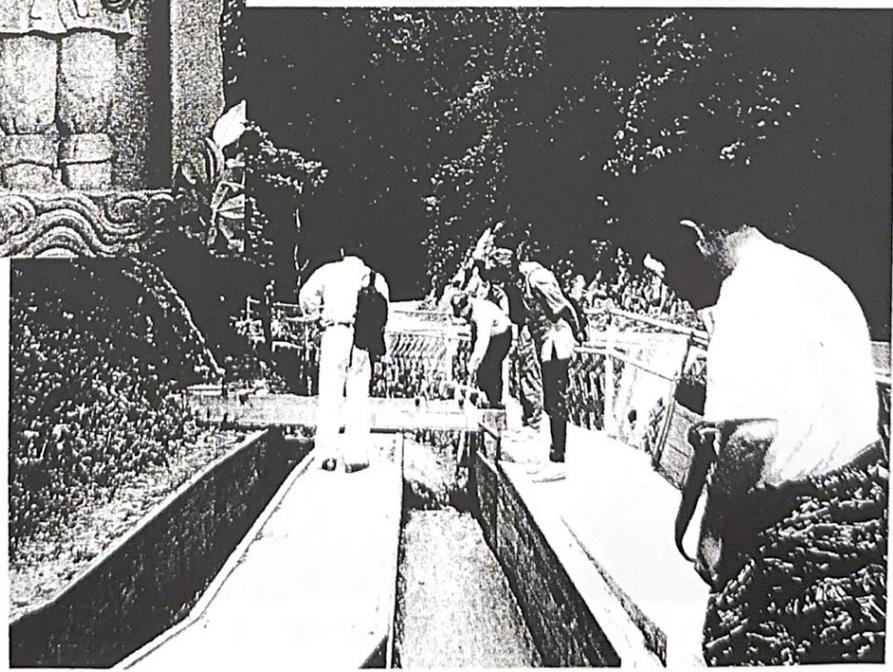


出雲と大和の
あけぼの

2. 夫婦神像
(松江市山代町)

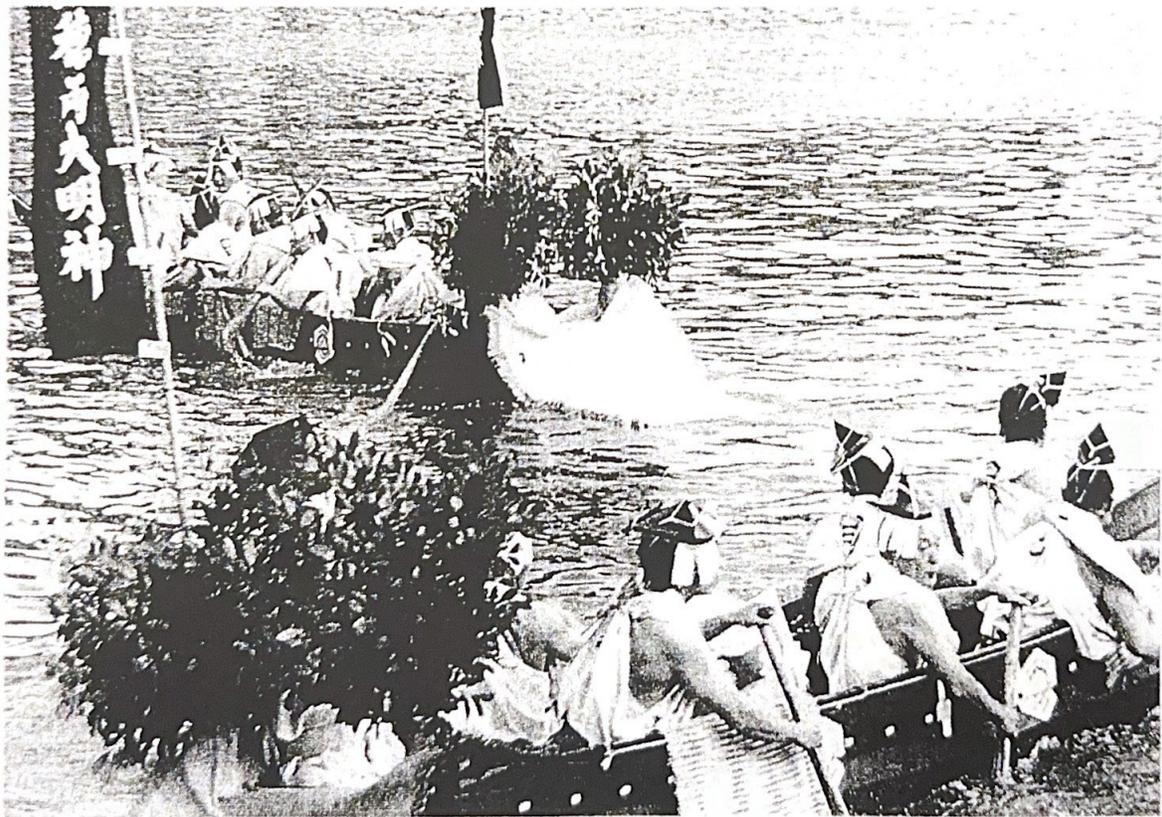


3. 鉄穴流し場
(奥出雲町羽内谷)



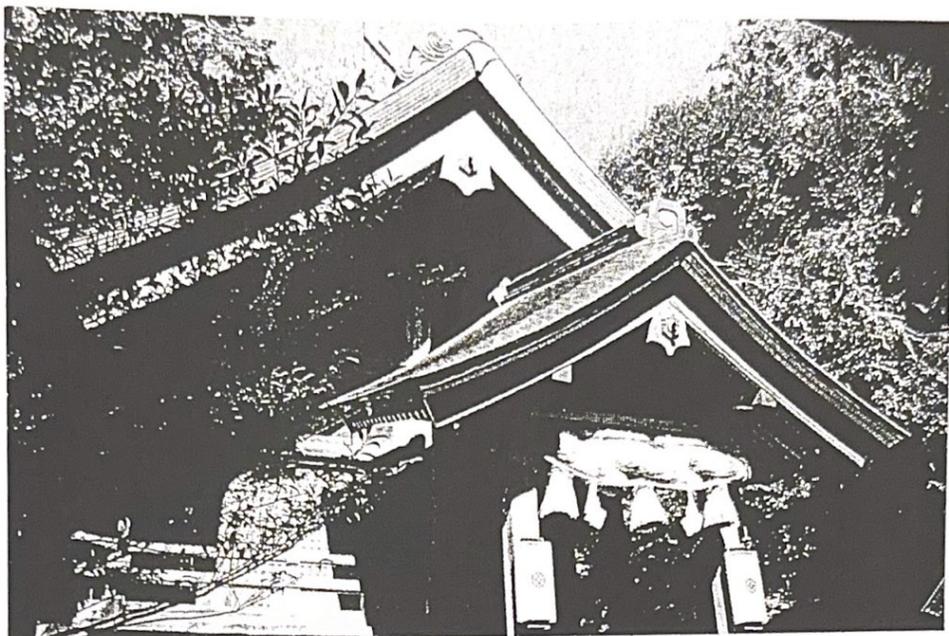


1. 古代出雲王墓



2. 諸手船神事

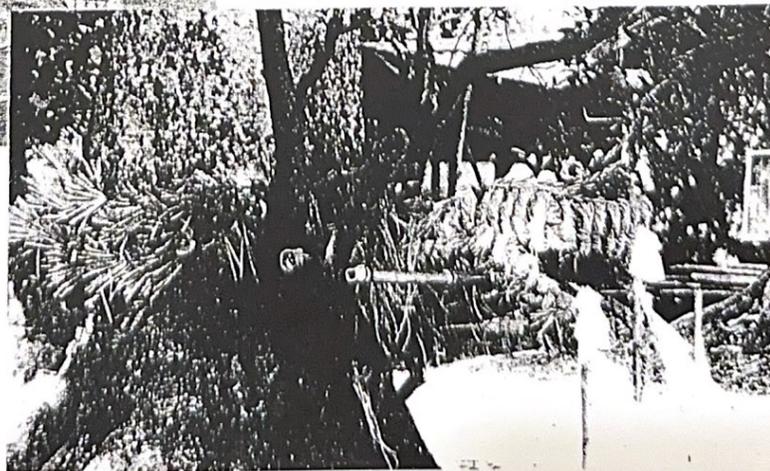
4. 阿須岐神社
(出雲市遙堪)



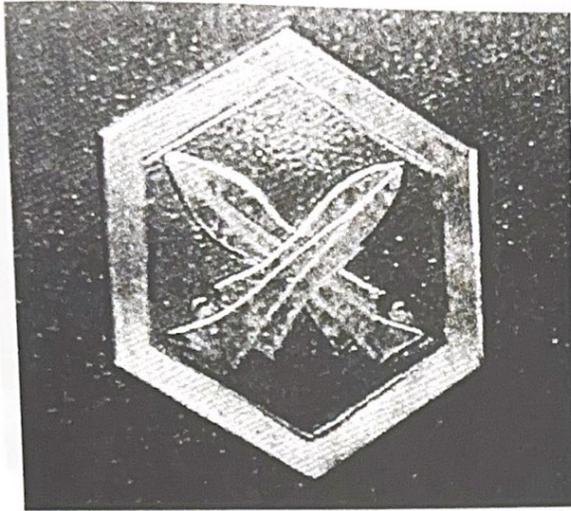
5. 大国主と兎
(入江甲作製作)



6. 斎の木と竜
(阿太加夜神社)



(表紙の風景は斐伊川)



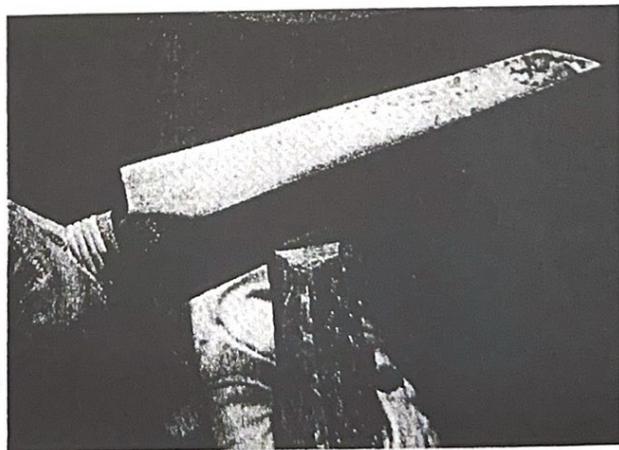
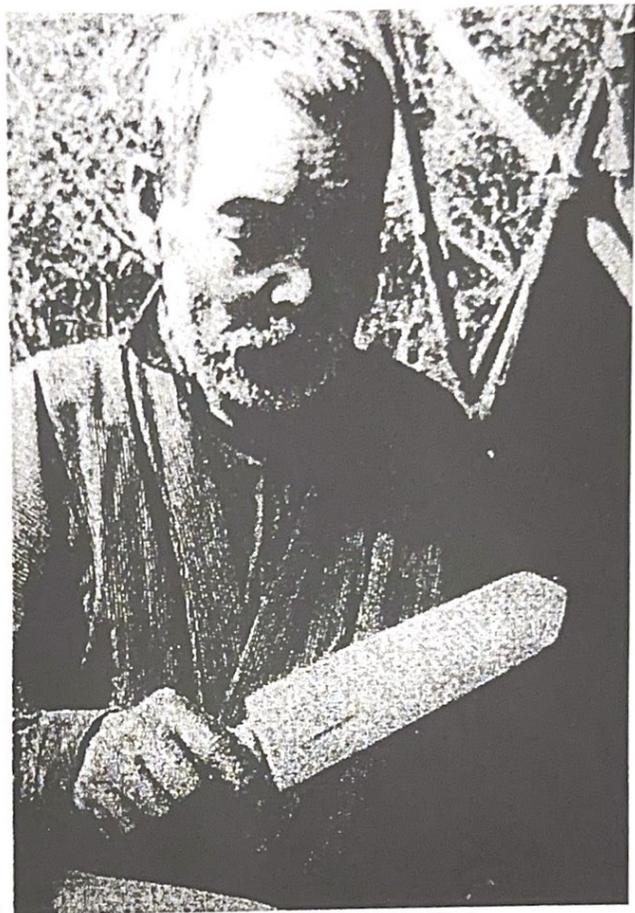
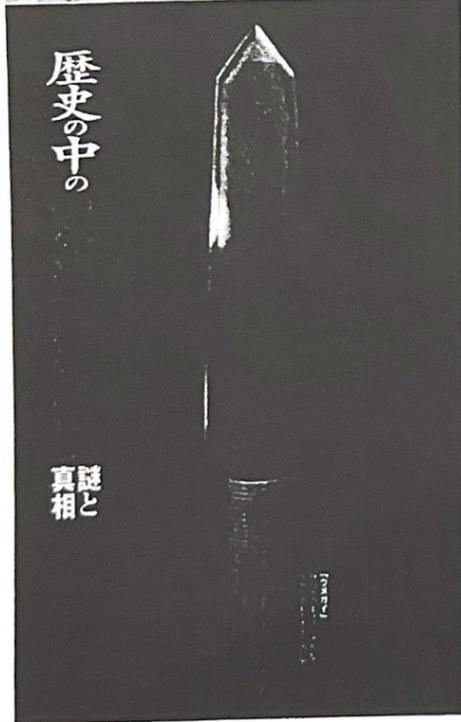


歴史の中のザンカ被差別民
謎と真相

ザンカ被差別民とは、江戸時代から明治時代にかけて、東北地方の山間部で暮らしていた人々である。彼らは、先祖代々の土地を耕作し、自給自足の生活を送っていた。しかし、明治維新以降、欧米列強の侵略に脅かされた日本は、富国強兵の道を進む。この過程で、ザンカ被差別民は、差別と偏見の目にさらされ、社会から排除されていく。本書は、この歴史をたどり、彼らの苦闘と希望を明らかにする。

歴史の中のザンカ被差別民
謎と真相

ザンカ被差別民の歴史は、差別と偏見の歴史である。彼らは、社会から排除され、差別を受けてきた。しかし、彼らは決して諦めず、生き残りをかけた戦いを続けてきた。本書は、この歴史をたどり、彼らの苦闘と希望を明らかにする。そして、未来を築くために、我々が何をすべきかを考えるきっかけとなる。



「日本の歴史は、この時代の歴史」